

## ルワンダの未来をつなぐー両国学生による国際プロジェクト 最終ピッチイベント実施

iU(情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長:中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>)は、2025年3月にルワンダの高等教育機関Rwanda Polytechnic Tumba College(ルワンダ共和国、以下 RP-Tumba College)と包括的連携協定(MOU)を締結しました。この提携に基づき、2025年4月より始動した「日本・ルワンダ間ビジネス創造プロジェクト」が約8ヶ月間にわたる活動を経て、集大成となる最終ピッチイベントを実施いたしました。



### ■「日本・ルワンダ間ビジネス創造プロジェクト」概要

本プロジェクトは、日本とルワンダの学生が混成チームを結成し、現地課題を解決しながら新たなビジネスの可能性を探ることを目的としています。単なる学術交流にとどまらず、社会課題を持続可能なビジネスモデルとして発展させることを重視し、各チームが新規事業の提案に挑戦しました。

### ■スケジュール

2025 年 3 月 13 日:キックオフミーティング

2025 年 4 月下旬:プロジェクト正式スタート／オリエンテーション

2025 年 5 月～11 月:チームごとの課題選定・リサーチ活動

2025 年 11 月 28 日:投資家向け最終ピッチ(オンライン／オフライン併用)

2025 年 12 月～:提案されたビジネスモデルの社会実装フェーズ

## ■投資家向け最終ピッチ

プロジェクトの集大成として最終ピッチでは国内の投資家を審査員に迎え、ルワンダの教育や就職支援に関する実践的な事業提案が披露されました。今後はピッチでの事業案をベースに、学生たちが主体となって社会実装や事業化へ挑戦する段階へと移行いたします。

本プロジェクトに参加した学生からは、「ビジネスを形にするスピード感を得られた」「ルワンダの仲間との協業を通じ、異文化間でプロジェクトを推進する技術が身についた」「東アフリカ市場の成長性や課題を肌で感じ、経験値を高めることができた」といった、自身の成長を実感する声が寄せられました。

約 8 ヶ月間の活動を経て、学生たちは異文化の中で合意を形成し、ビジネスを形にする実践力を大きく成長させました。今回の海外高等教育機関との連携およびグローバルコミュニケーションの機会創出は大きな収穫であり、この実績を今後の国際的な活動を広げるための確かな足掛かりとしてまいります。

また今後もこのようなグローバルな連携を通じ、世界を舞台に活躍する人材の育成を推進してまいります。

## ■関係者からのコメント

### ○iU 情報経営イノベーション学部 学部長補佐(グローバル領域) 奥村 耕一

本プロジェクトは、客員教員である内川高志朗氏の発案により開始され、そこに参画した学生たちによって成し遂げられたものです。取り組みの過程や進捗にはさまざまな困難もありましたが、内川氏をはじめ、日本側の小池氏、ならびにルワンダ在住の三好氏による継続的な支援と、学生たちの主体的な関与によって推進されてきました。

特に、5月から11月にかけて隔週で実施されたオンラインミーティングでは、日本およびルワンダのチームメンバーが一堂に会し、内川氏によるレクチャーを通じて、実装に至るまでのプロセスが共有されました。これを受け、チームメンバーは英語によるディスカッションを行い、次の段階に向けた課題解決に取り組みました。

ミーティングはすべてオンラインで実施されましたが、ルワンダ側の通信環境の影響により、音声や映像が不安定になる場面も見られました。一方で、そのような状況下においても、ルワンダの学生たちは高い意欲をもって参加し、議論を継続しました。

こうした取り組みを経て、現在はルワンダにおける事業創出に向けた具体的な動きが始まっています。本学iUにおける本プロジェクトとしての活動は一旦区切りを迎えますが、これまで積み重ねてきた成果は、ICT・ビジネス・グローバルというiUの学びの三本柱を有機的に結びつけた、初の実践的プロジェクトであったと言えます。

### ○プロジェクトマネジャー 株式会社 OfficePIECE 代表取締役・iU 客員教員 内川 高志朗

約8ヶ月間、iUとRP-Tumba(ルワンダ)の学生達は、言語や文化の壁を超えて『本物のビジネスとは何か』を問い続け、急速に成長する東アフリカ市場において、現地のリアルな課題感を持つルワンダの学生とiUの学生の中で、僕の想像を超えるスピード感と熱量で強烈な化学反応を起こしてくれました。

今回の本プロジェクト最大の特徴は、日本とルワンダの学生が単なる交流にとどまらず、一つのチームとして泥臭い議論を重ね、合意形成を行ってきたプロセスそのものだと考えています。

この経験は、彼らが将来グローバルリーダーとして活躍するための原体験となったと思います。

しかし、このプロジェクトのゴールはビジネスピッチではありません。最終ピッチを経て、彼らのアイデアは『机上の空論』から、投資家の厳しい目に耐えうる『実行計画』へと進化しました。今後は、僕の経営する現地法人のリソースもフル活用し、実際に社会実装するフェーズへ移行します。グローバルな架け橋となる彼らの『実業』への挑戦は、ここからが本番です。彼らのこれからの動きがすごく楽しみでワクワクしています！

## <大学概要>

### ■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

起業率全国1位（iU独自調査）、起業数は全国8位（経済産業省調べ）の、在学中に学生が起業に挑戦する大学。ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間のインターシップも経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

### ■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくる—アフターコロナはネコの時代—』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、Web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。

プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。起業数45以上、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。結果、2期生の就職率99.1%。

連携企業700社以上、客員教員1,000人以上。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等100以上のプロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う正課「eスポーツ」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

### ■所在地

・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：墨田キャンパス  
右：サテライトオフィス

・学生数：655名 ・基幹教員数：30名

## ■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

## ■学びの特色

### 「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

#### ①組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

#### ②アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

#### ③国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

### 現場で学び、起業で挑む。600時間の実習×全員起業プログラム

・臨地実務実習とプロジェクト実践演習：1人600時間の臨地実務実習、実在するサービスの事業展開やリアルな社会課題の解決などに取り組むプロジェクト実践演習を実施

・全員起業：全員が在学中に起業に挑戦。必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じてリアルなビジネスの立ち上げを経験し、社会で即戦力となる力を育成。希望者には事業化支援・資金提供・登記サポートも完備。

## ■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : [info@i-u.ac.jp](mailto:info@i-u.ac.jp)

